

トーク&上映会

「映画があった諏訪のまち」開催

自らの欲しい未来を、地域の人々の力で創りだすための場「**エキまちカイギ**」のメンバーの皆さんがつくったイベントです。

■開催案内

日 時：令和6年2月10日(土) 午後1時~4時30分(12時30分開場)

場 所：クリロンワークショップ伊久美

料 金：500円(料金は当日受付にて)

内 容：別紙参照

主 催：文化の場づくりを目標に何かやってみるチーム

共 催：諏訪市

「本イベント」に関する問い合わせ・お申込みは、メール：bunkanoba@gmail.com

電話：090-2405-1171 企画担当：楠見(くすみ)まで。

「エキまちカイギ」に関するお問い合わせは、都市計画課街路区画整理係まで。

電話：0266-52-4141(内線264・265) FAX:0266-52-8164



〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30
長野県 諏訪市 建設部
都市計画課 街路区画整理係
(担当) 笠原・茅野・堀川
電 話 0266-52-4141(内線264・265)
FAX 0266-52-8164
メール tokei@city.suwa.lg.jp

あたたかいお茶をいただきながら、なつかしいお話と写真、映像をほっこり一緒に。

トーク&上映会

映画があった諏訪のまち

日時：2024年2月10日(土) 13-16時半
※12時半開場

場所：クリロンワークショップ 伊久美
諏訪市大手2-15-11 tel.0266-55-3334

料金：500円 お茶・お菓子付 ※料金は当日受付にて



13時~ オーラルヒストリー
花松館

元館主 **小池秀明さん 信明さん**

大正時代に諏訪で最初に誕生した
映画館のヒストリーとその頃の様子を
一緒に聞いてみましょう

14時~

ビジュアルクロニクル
**大正~昭和
おまちと文化**

昔のまち並みが写った写真を眺めながら
まちにどんな文化や魅力があったのか
一緒に見つけてみましょう

15時~

特別上映
三好大輔 監督
《まつもと日和》 ウラ面
参照

まちの人たちの8ミリ映像を
集めて作られた映画を
一緒に鑑賞しましょう

お申込み

メールかお電話で
(先着40人)

bunkanoba@gmail.com

090-2405-1171

企画担当 楠見(くすみ)までご連絡ください。

※本企画は、諏訪の市民とゆかりのある人たちが駅周辺のこれからについて発想し、
対話する「エキまちカイギ」(諏訪市都市計画課主催)から生まれました。

主催：文化の場づくりを目標に何かやってみるチーム

共催：諏訪市

支援：信州アーツカウンシル(財団法人長野県文化芸術振興事業)
文化庁 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

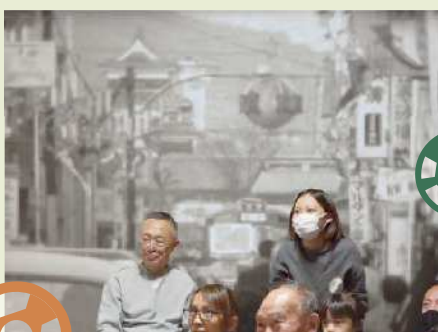


信州アーツカウンシル



文化庁

8mmフィルムを集めてつくった松本の地域映画です



まつもと日和

8mmフィルムは、昭和時代に一般家庭に普及した映像記録媒体です。市民のまなざしで切り取られた当時の日常風景や懐かしい街並みがスクリーンに蘇ります。

監督：三好大輔

音楽：3日満月（権頭真由 / 佐藤公哉）

製作：まつもとフィルムモンズ

支援：信州アーツカウンシル（一般財団法人長野県文化振興事業団）
後援：松本市教育委員会 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

信州アーツカウンシル

文化庁

2024年1月22日

文化の場づくりを目標に何かやってみるチーム

トーク&上映会

「映画があった諏訪のまち」

諏訪のまちや文化に関心のある方々を対象にして、表題のトーク&上映会を開催致します。つきましては、告知記事等ご検討いただきたくお願い申し上げます。

概要：

諏訪の駅周辺には、かつて5つの映画館がありました。その館の中では、子供からお年寄りまでさまざまな人たちが、日常的に多種多様な映画作品を楽しんでいました。本イベントでは、今はもう目にするのできないそんな当時のまちの様子を温めなおし、映画が根づいていたまちの魅力と人々の思いに迫ります。

最初にお話を伺うのは、1916年（大正5年）に、諏訪の映画館第1号として産声を上げた「花松館」の元館主小池秀明さんご子息の信明さん。お二人には、当時、どのような映画文化の潮流や社会背景の中で花松館が産声を上げたのか、そしてその後どんな歴史を歩まれたのか、お話しいただきます。また当時の映画技術等、舞台裏のエピソードや映画館主としての思いなどもお聞きします。

次に、地域に眠る8ミリ映像を収集して映画を製作する三好大輔さんをゲストにお迎えします。小池秀明さん・信明さんとともに、大正・昭和の懐かしいまちの写真や映像を眺めながら、当時のまちの魅力をつりかえり、映画館という館の存在意義や価値、まちと文化の可能性について、会場の皆さんとともにご意見を交換します。

また特別企画として、三好大輔監督が昨年製作した《まつもと日和》の上映会を行います。この映画は地域の方々から集めた8ミリ映像を編集して作られました。映画からは市民の手で撮影された映像の魅力と、消えゆきそうなくらしをアーカイブすることの大切さが伝わってきます。

なお、本企画は、「文化の場づくりを目的に何かやってみるチーム」が行うものです。このチームは、諏訪市の都市計画課が2021年度より主催する「エキまちカイギ」^{*1}の中から生まれた活動体です。上諏訪駅前周辺エリアに文化的拠点となる場を作る可能性をさぐり、その試みをより多くの方々と共有・発展させるための活動を2022年度より行なってきました。これまで諏訪市と共催で『かみすわ一箱古本市』を開催するなど、地域の賑わい創出に寄与しています。

※1 エキまちカイギ／「上諏訪に住む人、働く人、学ぶ人、ゆかりある人—あなたにとっての「欲しい未来」はどんなものですか？道路や公園、広場、空地や空き家など、私たちの身近にあるものすべてを「資源」として見つめなおし、諏訪ならではの歴史や文化、自然などを活かして、自らの欲しい未来を、地域の人々の力で創りだすための場—それが、「エキまちカイギ」（上諏訪駅周辺の未来のまちづくりを楽しむ会議）です。」

（「エキまちカイギ」に関する諏訪市都市計画課HPの説明より。 <https://www.city.suwa.lg.jp/soshiki/21/44519.html>）

詳細：

タイトル：トーク&上映会「映画があった諏訪のまち」

開催日時：2/10（土）13時～16時30分 ※12時半開場

場所：クリロンワークショップ伊久美（諏訪市大手2-15-11）

募集参加者：諏訪市の皆さん、諏訪のまちや文化にご興味のある皆さん

参加者参加費：40名（先着順）

参加費：500円（お茶、お菓子付き）

申込方法：メール（bunkanoba@gmail.com）または電話（090-2405-1171／担当：楠見）にてお申込み下さい。料金は当日受付でお支払いをお願いします。

主催：文化の場づくりを目標に何かやってみるチーム

共催：諏訪市

支援：信州アーツカウンシル（一般財団法人長野県文化振興事業団）
文化庁 令和5年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

出演者：小池秀明さん（元花松館館主）、小池信明さん（秀明さんのご子息）

ゲスト：三好大輔さん（映画監督）

聞き手：楠見春美（文化の場づくりを目的に何かやってみるチーム 本企画者）

内容：

1. オーラル・ヒストリー「花松館」 出演者：小池秀明さん、小池信明さん
諏訪で最初に誕生した映画館のヒストリーと当時のまちの様子、館主の思いなどを伺います。
（約50分）
2. ビジュアル・クロニクル「おまちと文化」 ゲスト：三好大輔さん
小池秀明さん、信明さん、三好さんとともに、すわのまちの古い写真や映像を見ながら当時のまちについての気づきや、まちに映画館があることの魅力などをお話しし、会場の皆さんと共に、これからのまちの理想像についてご意見を交換します。
会場の「伊久美」は秀明さんもよくご存知の元料亭。そのお話から「おまち」の様子なども話題にします。 （約50分）
3. 特別上映会 映画《まつもと日和》 （73分）

関連情報：

文化の場づくりを目標に何かやってみるチーム（ホームページ）
<https://sites.google.com/view/bunkanoba-1/ホーム>

問い合わせ先：

文化の場づくりを目標に何かやってみるチーム
メール：bunkanoba@gmail.com（担当：楠見）

以上。